

採用を増やし教職員を正規で配置せよ！

—府教委 2020年度公立学校教員採用選考テストの選考結果を発表—

府教委は10月25日、大阪府公立学校教員採用選考テストの合格発表を行うとともに、第三次（最終）選考結果を発表しました。結果は以下の通りです。詳細は大阪府の職員採用情報「公立学校教員採用」のページで見ることができます。

大阪府公立学校教員採用選考テスト選考結果(2018～2020)

※最終倍率は受験者数に対する倍率

	2018年度		2019年度		2020年度	
	全体	高等学校	全体	高等学校	全体	高等学校
採用予定数(人)	1,510	230	1415	200	1,315	200
志願者数(人)	9,809	3,019	8,490	2,330	7,649	2,037
倍率(倍)	6.5	13.1	6.0	11.7	5.8	10.2
第一次選考受験者数(人)	6,937	2,147	6,707	1,869	6,214	1,593
第一次選考合格者数(人)	3,617	904	4,453	938	4,119	839
合格率(%)	52.1%	42.1%	66.4%	50.2%	66.3%	52.7%
第二次選考受験者数(人)	3,911	1,025	4,572	1,020	4,344	954
第二次選考合格者数(人)	1,960	416	2,820	479	2,724	448
合格率(%)	50.1%	40.6%	61.7%	47.0%	62.7%	47.0%
第三次選考受験者数(人)	2,999	649	3,005	463	2,760	433
第三次選考合格者数(人)	1,363	215	1,316	204	1,189	194
最終倍率(倍)	6.3	11.9	5.6	9.8	5.7	8.9

今年度当初の新規採用者数は、採用予定数や選考テストの合格者数を下まわり、教職員定数の多くが臨時教職員で充てられる状況が続きました。しかし府教委は今年度、さらに合格者を減らしています。学校教育法第60条では、教諭に代えて講師を置くのは「特別の事情があるとき」に限定しています。府教委は「教諭の定数管理において一定の講師の配置は必要」として、来年度も講師配置を予定していますが、生徒数の動向や財政事情のために、定数の一部を講師で充てて「調整」するのは、明らかに法の趣旨を逸脱するものです。

府高教は府教委に対し、教職員採用について、以下のことを要求し、厳しく追及しています。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ○定数内講師をなくし、正規の教員配置を | ○制度の公開性・透明性をいっそう強めること |
| ○すべての教科・科目の教員採用者数の大幅拡大 | ○公平・公正な教員採用選考 |

また府労組連では、府当局に対し、教職員の待遇を抜本的に改善し「大阪から人が逃げる」「教育に穴が開く」状況を解決することを強く要求しています。

○合格した方へ・・・おめでとうございます。ともに教育を担う仲間として、歓迎します。

○来年も採用テスト受ける方へ・・・5～6月に開いている勉強会に、仲間と一緒に参加して、合格をめざしましょう。

府高教は、 いい教育がしたい＝教育条件の改善や職場をこえた実践交流で、子どもたちがのびのび学べる学校に、

安心して働きたい＝賃金・権利の保障、パワハラのない働きやすい職場を、「教え子を再び戦場に送らない」＝憲法を守り生かし、子どもたちに平和な未来を などのとりくみをすすめ、みんなで要求を実現する教職員組合（労働組合）です。

みなさんが、ぜひこの機会に 府高教に加入されることを呼びかけます。加入申し込み→

